

特集 "PROJECT 2011"

ニュースレターをご愛読いただいている皆様、あけましておめでとうございます。
1月のニュースレターは、『PROJECT 2011』と題しまして、加藤一成建築設計事務所が設計が進んでいるプロジェクトの中から、現時点で、ある程度計画の内容が決定しつつあるものを、いくつかご紹介させていただきます。



Fj-House

由利本荘市の見晴らしのよい小高い丘の上に建つ住宅です。2人の子供の子育てのための空間と、多目的に利用可能なリビング・ダイニングを持つ住宅です。薪ストーブを中心に家族が集えるリビングと吹抜けを介し、2階のワークスペースとつながります。



Th-House

仙台市泉区に計画中の平屋のバリアフリー住宅。生活者の身体特性に配慮し、各所寸法等を十分に協議検討し決定しました。道路からのアプローチや、それぞれの生活場所のつながりに注意しながら、快適性やプライバシーを確保しています。



Nt-House

青森県三戸郡三戸町に計画中の住宅です。三戸という冬季の気候特性を活かし、多くの日照を取り込むプランニングとしています。ダイニング・キッチンと水回りの関係に配慮し、家事のし易い動線としています。吹抜けと一体感のある書斎も特徴的です。



Sa-House

秋田市の住宅地に建つ住宅です。比較的住宅が密集する地域ということもあり、その中でよりプライベート感のある快適な空間、プライバシーを守りつつ快適である空間に配慮しました。薪ストーブを中心に、デッキにつながる南側に開いたリビングを持ちます。



Sr-House

秋田市郊外の住宅地に建つ小住宅です。これから始まる新しい生活のための住宅で、コンパクトなプランニングでありながら、中間領域のデッキや外部空間を取り込む事により、面積以上に広がりのある明るい空間を目指しました。



St-House

日本海を望む小高い丘の上に建つ住宅です。家族の変化に対応するフレキシブルなプランです。景観の良さを活かした開放的なリビング、フロアごとの高低差のあるスキップフロアとし、快適で変化のある生活を楽しむ空間を提案いたしました。

お知らせ

ASJ 仙台青葉スタジオセミナー

ASJ 仙台青葉スタジオさんのご厚意によりセミナーを担当させていただきます。

仙台オフィス開設記念セミナー

平成 23 年 1 月 23 日(日)
ASJ 仙台青葉スタジオ
[株式会社 丸本組]
AM 10 : 30 ~ 12 : 00
PM 14 : 00 ~ 15 : 30
連絡先 宮城県仙台市青葉区木町通 2-2-14 建翔ビル 3F
TEL.022-727-9230
仙台及び仙台近郊の皆様、是非お出下さい。

MEDIA

住宅雑誌に取材いただきました。

1月9日、Rj-house Refining の取材に立ち会いました。

パナソニック電工様のスポンサーにより、リビングステーションの理想的な設置イメージとして、空間とともにご紹介いただけます。2月7日発売予定のモダンリビング 2月号に掲載予定です。どうぞお楽しみに。



スタッフの日常・非日常 vol.32



何でも断熱材が不足しているようで、エコポイントの特需で、普段は断熱材をあまり入れない地域のほうでも入れまくって、生産が追いつかないんだとか。そのために工事がストップしている現場もあると聞きました。幸いうちの工事現場は何とか確保できているみたいですが、工事もストップすることなく進んでいます。でも真冬の工事は大変です。吹雪のなか建て方を終えた現場の検査に行ってきました。その日気候はおちついていたのですが、とても寒いです。検査は無事終了。大工さんに「大変ですね」と声をかけると「今日は春みたいだ」と言っていました。恐れ入ります。きっと暖か〜い住宅が出来上がることでしょう。



今月のマテリアル



フラットバー手すり

フラットバーという平べったい鉄の棒を溶接してつくる手すりです。階段の手すりは色々なやり方がありますが、私たちの事務所ではフラットバーを用いることが多く、リビングにある階段など、「見せる階段」の手すりとして設計しています。軽やかに見えますが、鉄なので木よりも強度に優れます。組み方は様々ですので、より軽く、強く、まだまだ検討の余地はあります。



編集後記

皆様、あけましておめでとうございます。年末年始は、いかがお過ごしでしたか？ 2011 年もよろしくお願致します。

iphone や ipad を持っている人は多いですね。便利そうで「いいな」と思いますが、残念ながらまだ私は持っていません。いずれ携帯電話はスマートフォンに、パソコンはタブレット型になっていくのでしょうか。これらの機能の中で、私が一番使えそうだと思うのが画像や電子書籍を大量に持ち歩けるという事でしょうか。私たちは建築の現物は持ち歩けませんので写真でお見せするのですが、全部の設計事例集を常に持ち歩くのはとても大変です、お客様との会話の中で直ぐに事例をお見せできればコミュニケーションもスムーズです。書籍やカタログも見たい時に見られればどんなに便利なことでしょう。また、それらを置くためのスペースに、毎月いくら払っていることか・・・あらゆる場面でデジタルが優れているとは思いますが、場所にとられないワークスタイルには適しているのではないのでしょうか。今年、徐々に取り組みたいテーマです。

それでは次回もどうぞお楽しみに。



今月は取材の写真をもう1枚。

キッチンが主役ですので、鍋やフライパンを並べて美しい見え方をスタッフの皆さんであこれ検討中です。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 022-739-8931 018-831-4315

FAX. 022-739-8932 018-831-4316

HP. http://www.issei-design.com/

BLOG. http://www.issei-design.com/blog/

MAIL. info@issei-design.com